

目的ベースのまちづくり活動

⑪美しい里山を取り戻したい！ ～大羽谷川流域の環境を考える会～

御調町の大羽谷川流域の環境を考える会では、荒地となった大羽谷川流域をかつての川に親しめる姿に戻すため、有志が集まり、雑木伐採や草刈りから活動をスタートしました。

きっかけは？

大羽谷川は、昔は水浴びやキャンプができる地域住民の憩いの場でしたが、40年近く放置されたため、川原にまで木々が茂り、足を踏み入れることができなくなっていました。そこで、かつての美しい里山を取り戻したいと願う者が集まり、“自分たちでできることは自分たちで”を合言葉に会をつくり、できることからやってみようということになりました。

どんなことをしていますか？

最初は川原に林立する雑木を伐採し、倒木や流木の除去から始めました。容易な作業ではなく、みんなで額に汗をしながら黙々と作業をしました。

現在は、里山の環境整備・美化活動と自然にふれるイベント（バードウォッチング、自然観察会、クリスマスリースづくり等）の2本立てでやっています。

メンバーがそれぞれやりたいことを持ち寄り、話し合います。実施する内容が決定したら、得意な人が他のメンバーをリードする方法で実施してきました。特技を活かして無理をせずやっていくことが楽しい活動の秘訣だと思います。



バードウォッチング

よかったことは？

雑木の伐採は時間がかかりましたが、雑木がなくなったおかげで昭和10年代に造られた全長50メートルの石積みの砂防堰堤を約30年ぶりに見ることができました。

昔の風景を知っている人が懐かしそうに眺めておられる姿を見て、やった甲斐があったと感じました。

また、最近は、お弁当持参でウォーキングに来られる人たちを見かけるようになり、里山をきれいにしてよかったと実感しています。



よみがえった砂防堰堤

これから・・・

活動開始から5年経過した現在、メンバーの体が5年前のように動かない時がありますが、よみがえった里山を再び荒地に戻さないよう草刈りや林道パトロールを続けています。その甲斐あって、地域住民だけではなく、他地域からも訪れてもらえるようになり、多くの方に大羽谷川の自然に親しんでいただいています。

大羽谷川は四季折々、いろんな種類の動植物に親しむことができます。

里山の自然散策においでください！おいしい空気と新緑できっとお弁当も一層おいしく感じられると思います。



メンバーによる草刈り